

牧草と園藝



ごあいさつ

雪印種苗にいつも変らぬ御愛顧と御支援を賜り有難うございます。

さて、当社の前身である北海道製酪販売組合連合会が、昭和16年北海道興農公社と発展した時、酪農家のために牧草・飼料作物種子の生産・供給を行なう事業を始めました。この時、一人でこの種苗事業に取り組んだのが、五十嵐社長でありました。

爾来、40年間一筋に優良種苗の生産・供給に精魂を傾け、その事業は戦後雪印種苗株式会社へと発展し、道内酪農は申すに及ばず、全国の自給飼料増産や地力培養に大きく貢献して参ったのでありますが、去る9月28日、当社第27回定時株主総会に於いて、五十嵐社長は勇退を表明され、永らく皆様の御交誼、御愛顧をいただいた第一線から退くことになりました。

今後は取締役会長として、種苗・飼料の向上に陰ながら御指導を賜ることになり、本日までの皆々様の御交誼に感謝し、皆様からも五十嵐社長の功績にねぎらいの御言葉を賜れば有難き幸せと存ずる次第であります。

五十嵐社長の勇退に伴い、当社専務として皆様の御交誼をいただいております不肖、中野富雄が、次期社長として就任致しました。誠に浅学非才であります、農業奉公の社是を胸に、食糧自給、国土保全の社会的要望に応じて、優良種苗、飼料の開発・供給あるいは緑化の推進に、引続き微力を尽したいと存じますので、何分とも宜しく御引立賜りますよう御願ひ申し上げます。

我が国畜産が今や新たな飛躍を要望されている時、自給飼料による高栄養生産、濃厚飼料の合理的経済的利用、緑肥・輪作による土づくりなど畜産経営に不可欠な当社製品の重要性をわきまえ、『技術と誠意』をもって皆様の御期待に添いたく決意を新たに致しております。

尚、この機会に社業の合理化をすすめ、人事機構の一部を別紙の通り改めました。

何卒、旧に倍して御愛顧、御引立の程御願ひ申し上げ、社長就任の御挨拶と致します。

昭和52年10月1日

取締役社長

中野富雄